

岩沼市 地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析

地域包括ケア「見える化」システムを活用し、高齢者率、要介護認定率、サービス資源や給付費等の現状把握・分析等を行いました。

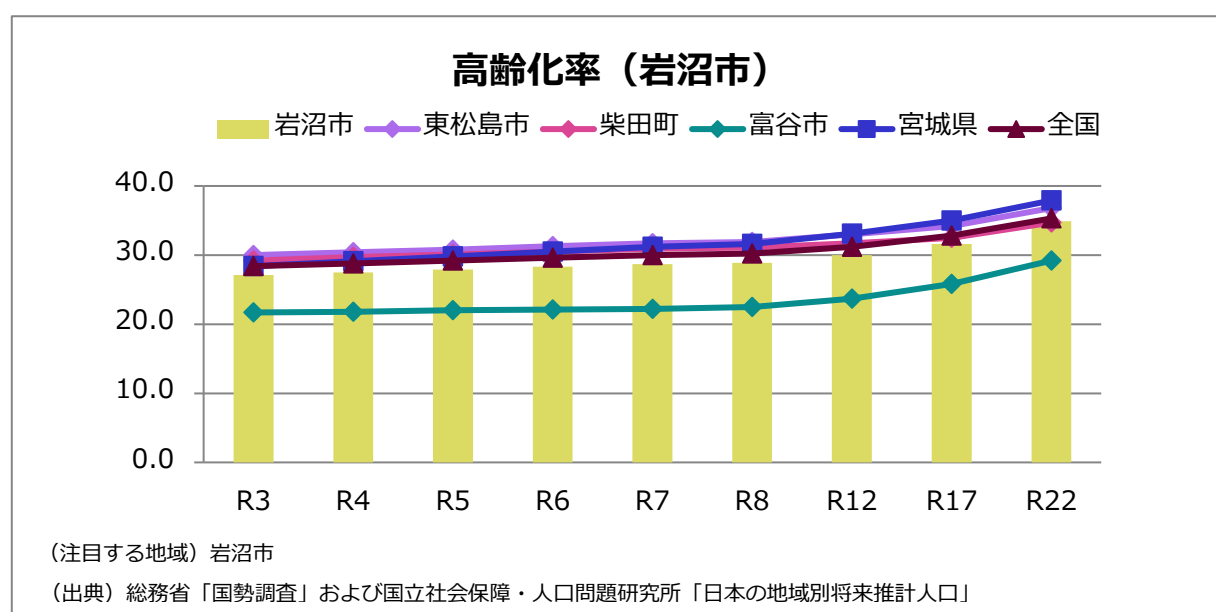
本分析にあたっては、宮城県内市町村のうち、本市と人口規模に近い「富谷市」「柴田町」「東松島市」との比較をさせていただきました。

1. サービス資源や給付費等の現状把握・分析

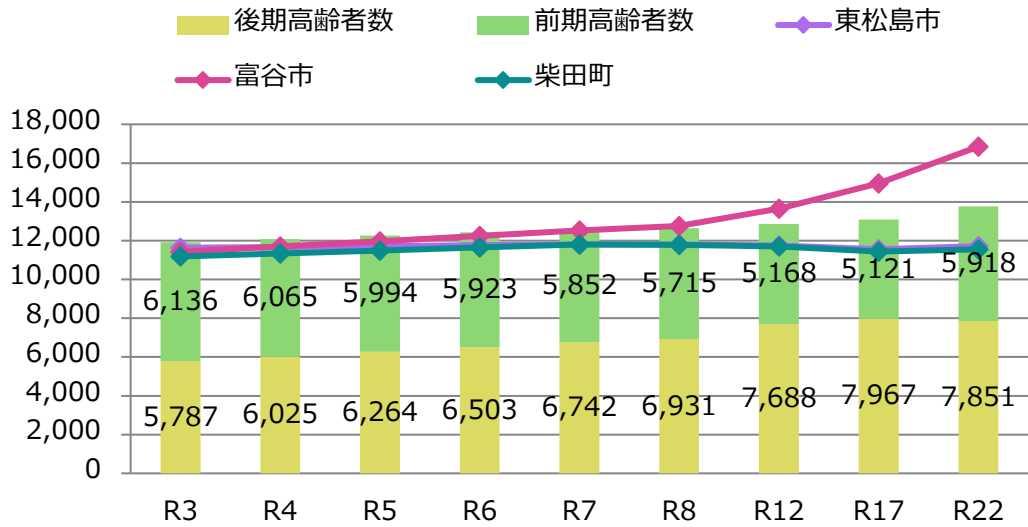
(ア) 高齢者数・高齢化率

高齢化率(%)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R12	R17	R22
岩沼市	27.1	27.5	27.9	28.3	28.7	28.9	30.0	31.6	34.9
全国	28.4	28.8	29.2	29.6	30.0	30.2	31.2	32.8	36.8
宮城県	28.4	29.1	29.8	30.5	31.2	31.6	33.1	35.0	40.3
富谷市	21.7	21.8	22.0	22.1	22.2	22.5	23.7	25.8	31.7
柴田町	29.2	29.7	30.1	30.5	30.9	31.1	31.7	32.5	36.8
東松島市	30.0	30.4	30.8	31.3	31.7	31.9	33.0	34.2	39.1

(出典)総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

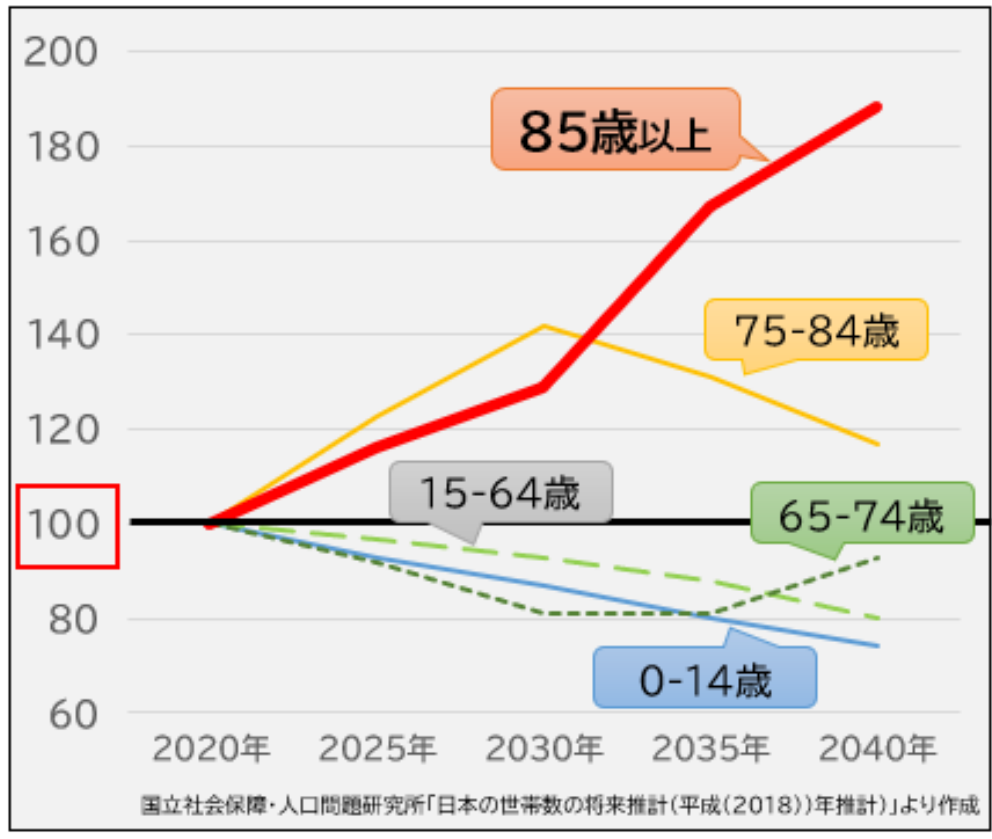


前期・後期別高齢者数（岩沼市）

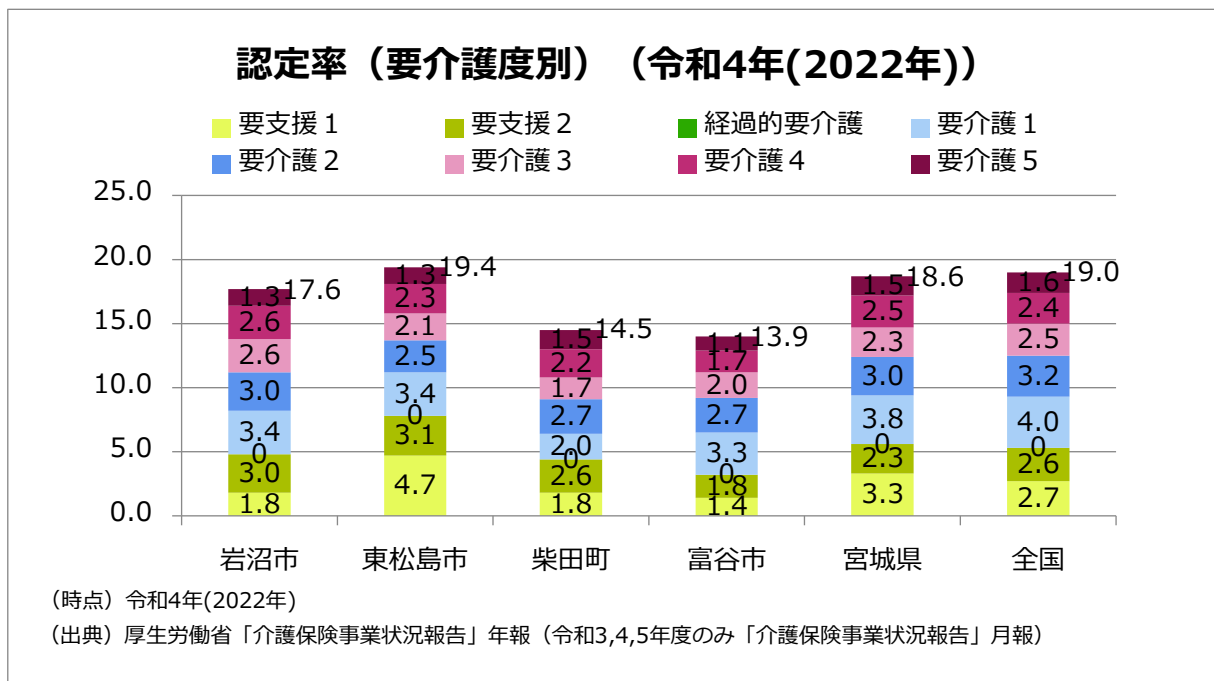
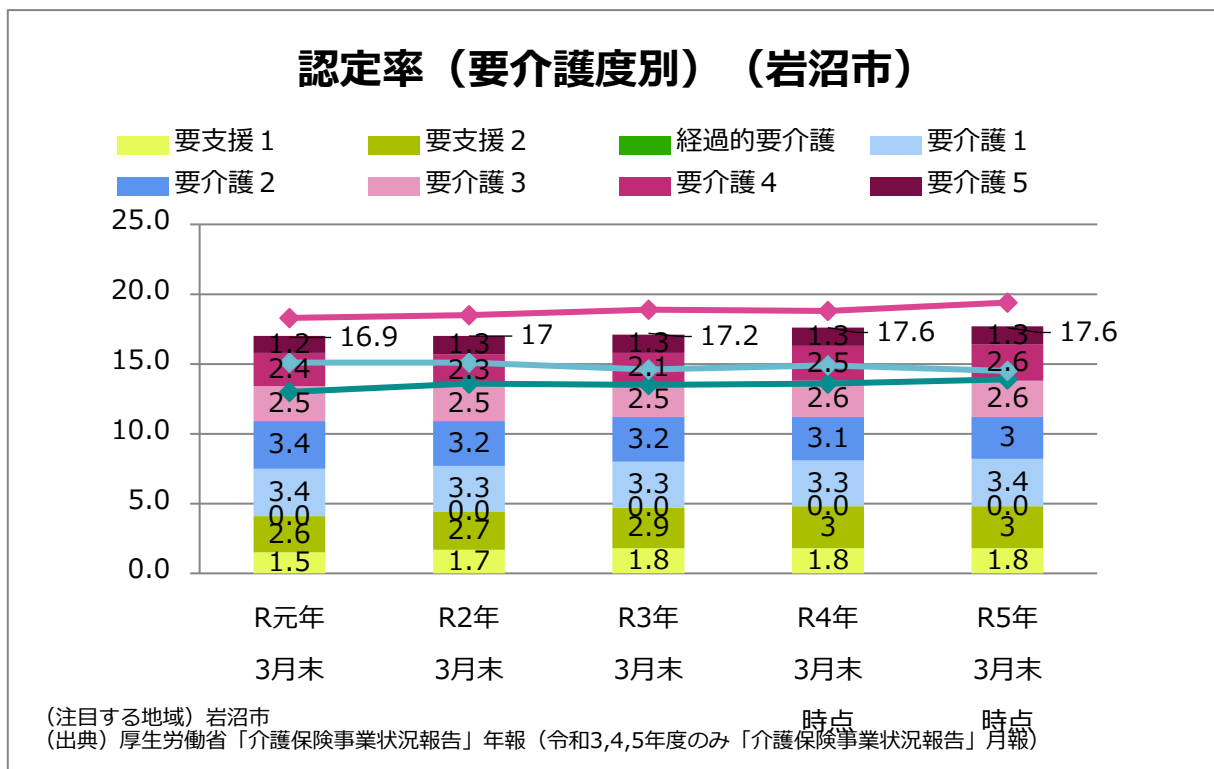


(注目する地域) 岩沼市
 (出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

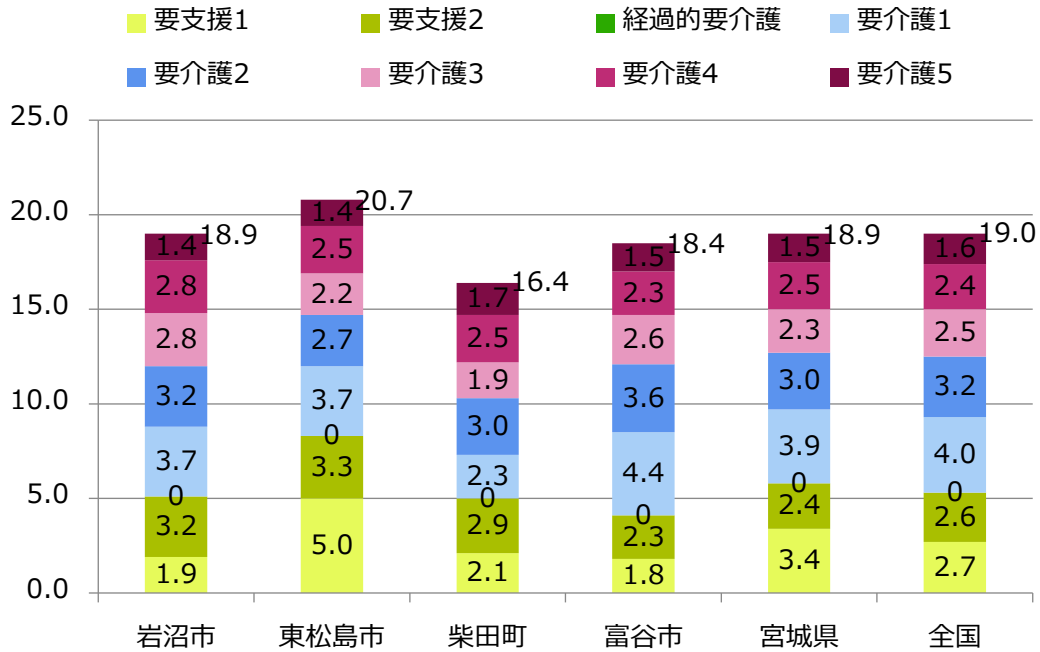
岩沼市の将来人口の伸び率 (2020年を100としたとき)



(イ)要介護認定率



調整済み認定率（要介護度別）（令和4年(2022年)）



（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※本指標は要介護度別の「調整済み認定率」を示すものです。「調整済み認定率」とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を意味します。

小括

本市の高齢化率は年々上昇している。全国及び宮城県の平均や他の自治体も同様に推移すると予想される。本市においては、特に令和17年(2035年)から令和22年(2040年)にかけて急激に上昇することが見込まれる。

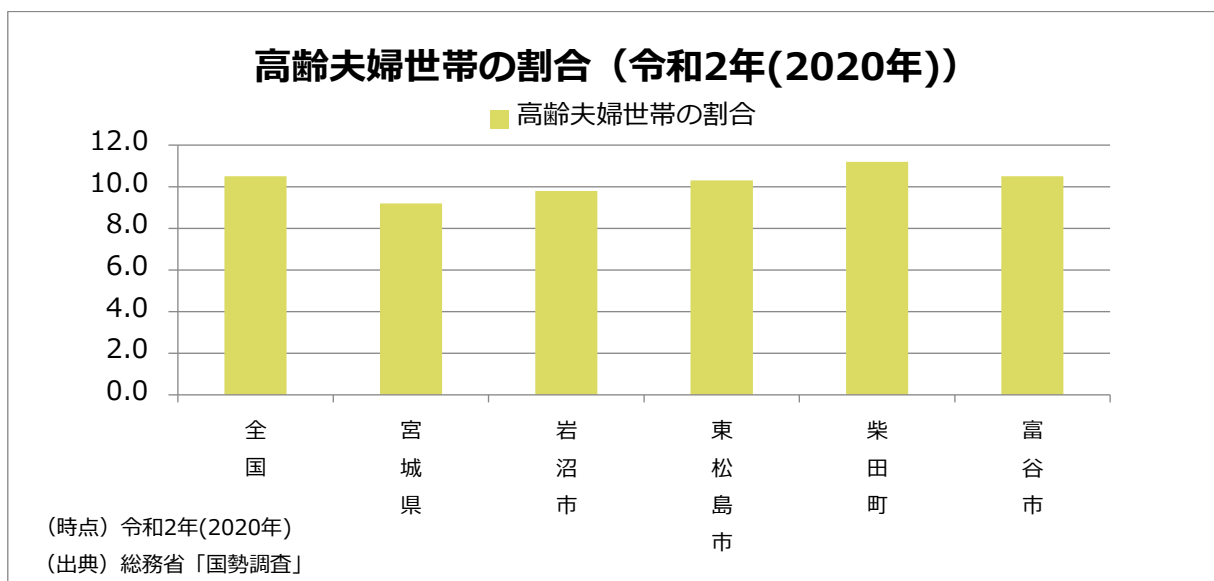
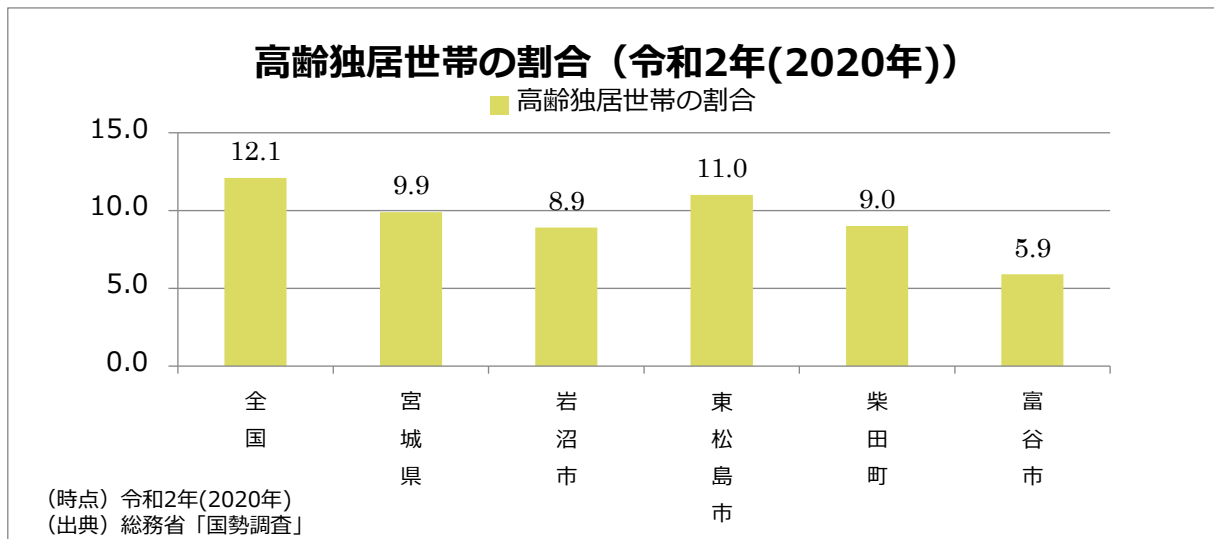
本市は、令和5年(2023年)中に前期高齢者数と後期高齢者数が逆転する見込みである。R12年(2030年)からR22年(2040年)にかけて、85歳以上のみが増加し、それを支える64歳以下の人口は減少する見込みである。85歳以上の半数以上が要介護認定を受けており、今後認定者数の増加が予想されます。本市は他の自治体と比較すると要介護3以上の認定者数が多いことがわかった。令和2年度までは要介護1・2の割合が多かったが、その後、要介護3以上が増加しており、重症化が進んだ可能性がある。「令和3年版高齢社会白書」によると、要介護3以上の介護者の介護時間は「ほとんど終日」が最も多くなっており、要介護3以上の要介護者は介護サービスの増加だけでなく、介護者負担の増加にも影響している。

地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、自立支援・重度化防止の取組みを効果的に実施していくことが重要であり、引き続き、フレイル予防の周知啓発と一体的事業展開を継続して行っていく必要があると考えられる。また、高齢者に対する介護予防の取組と、働き盛り世代を対象とした健康づくりや疾病予防といった健康増進部門の取組を連動させ、早期の介護予防に取り組む必要がある。

(ウ)調整済み認定率の地域分析

地域包括ケア「見える化」システム調整済み要介護認定率の分析から、本市は他の地域と比べて、中・重度者(要介護3以上)が高いことがわかった。要因分析にあたり、「地域の高齢者の状況」について検討した。

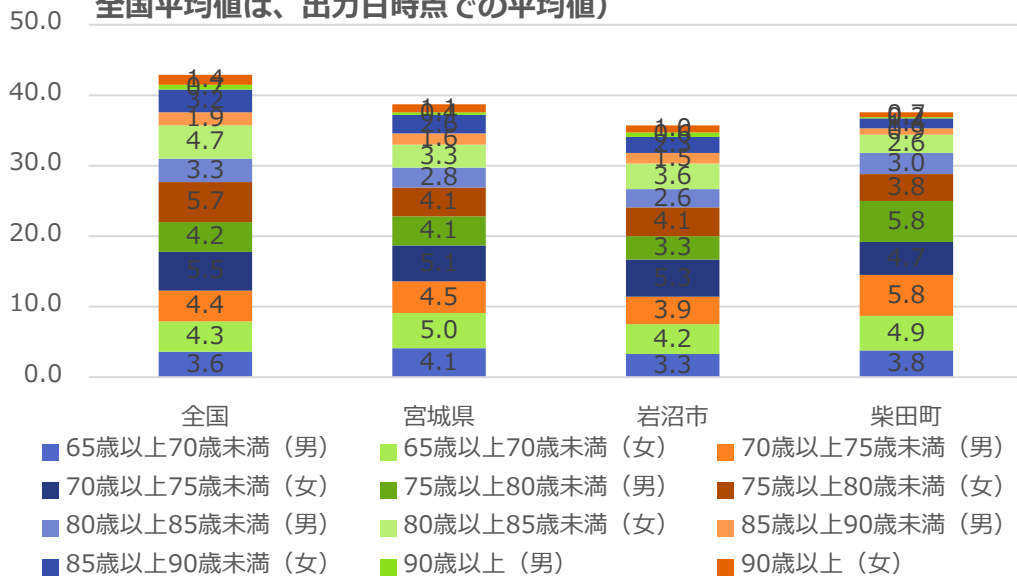
地域の高齢者の状況



本市の高齢独居世帯の割合は、宮城県平均を若干下回っている。高齢夫婦世帯の割合は、宮城県平均を上回っているが、他の地域と比較すると下回っている。

しかしながら、高齢夫婦世帯は将来の高齢独居世帯の予備軍といわれており、今後、本市の高齢独居世帯は増加していくことが見込まれる。高齢独居世帯や高齢夫婦世帯は地域の見守り等の支援が重要であり、生活支援コーディネーターの活用等による自治会等、住民互助による地域コミュニティの再構築を進めていく必要がある。

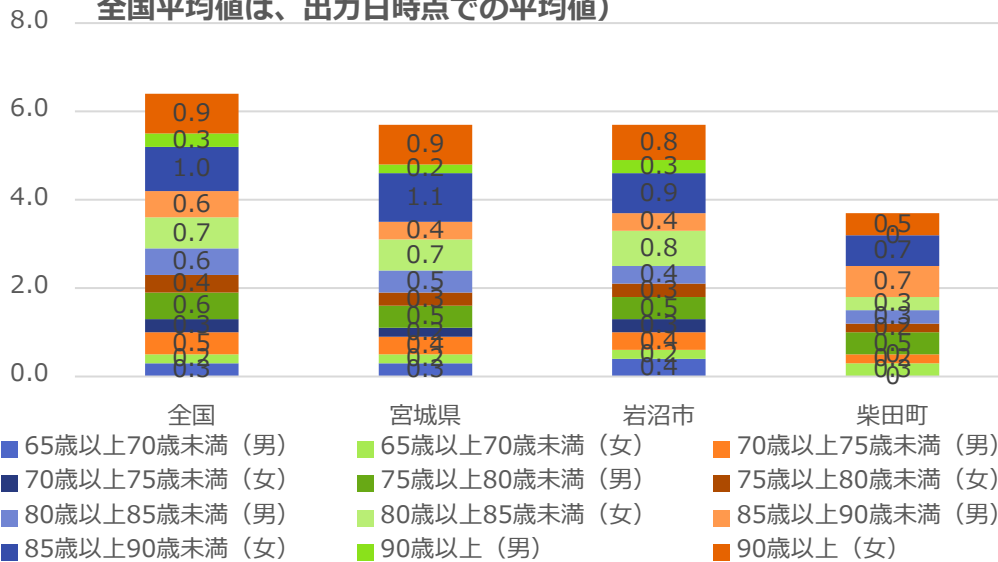
認知症リスク高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示) (令和元年(2019年)※都道府県・全国平均値は、出力日時点での平均値)



(時点) 令和元年(2019年)※都道府県・全国平均値は、出力日時点での平均値

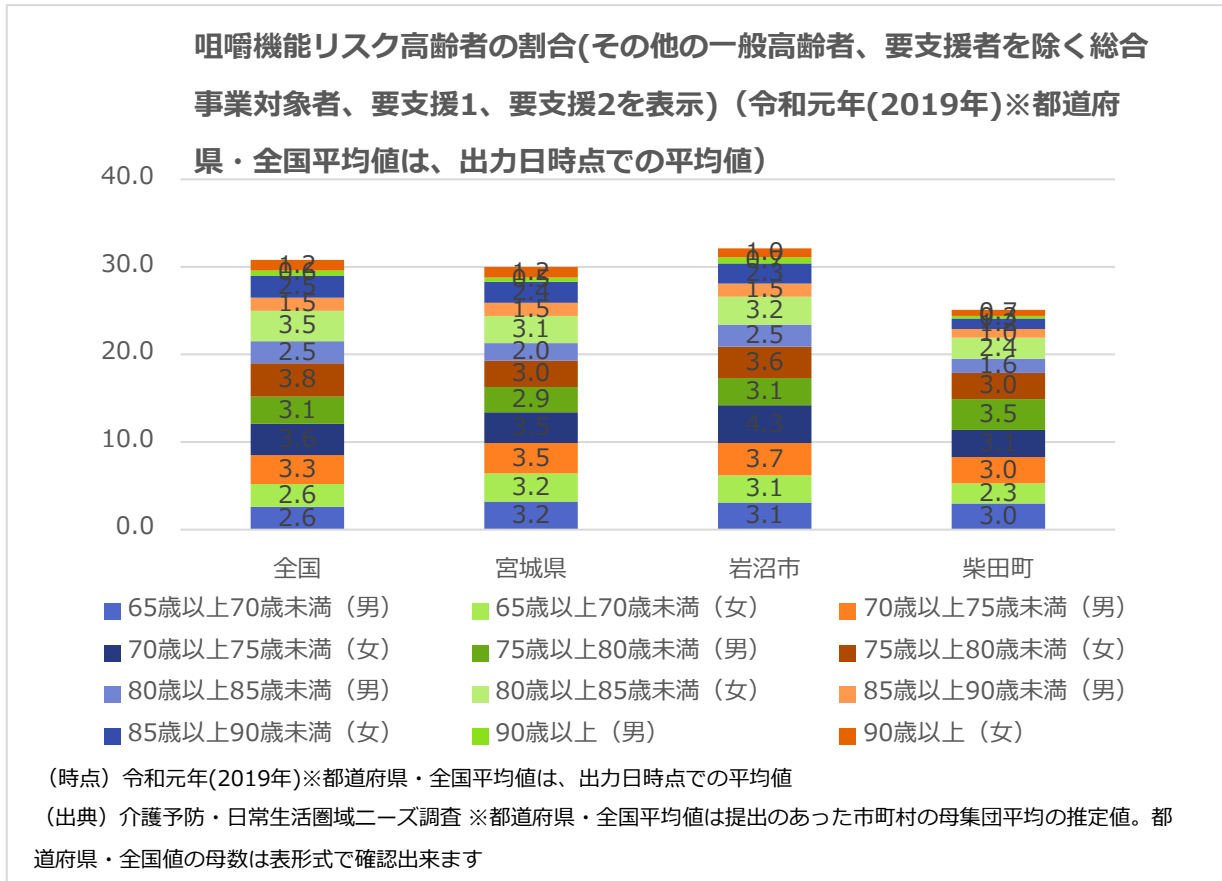
(出典) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 ※都道府県・全国平均値は提出のあった市町村の母集団平均の推定値。都道府県・全国値の母数は表形式で確認出来ます

IADLが低い高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示) (令和元年(2019年)※都道府県・全国平均値は、出力日時点での平均値)



(時点) 令和元年(2019年)※都道府県・全国平均値は、出力日時点での平均値

(出典) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 ※都道府県・全国平均値は提出のあった市町村の母集団平均の推定値。都道府県・全国値の母数は表形式で確認出来ます



本市の認知症高齢者リスクの割合は宮城県平均や他の自治体より下回っている。一方、IADLが高い高齢者の割合は宮城県や他の自治体を上回っている。特に、75歳未満までの割合が多くなっている。

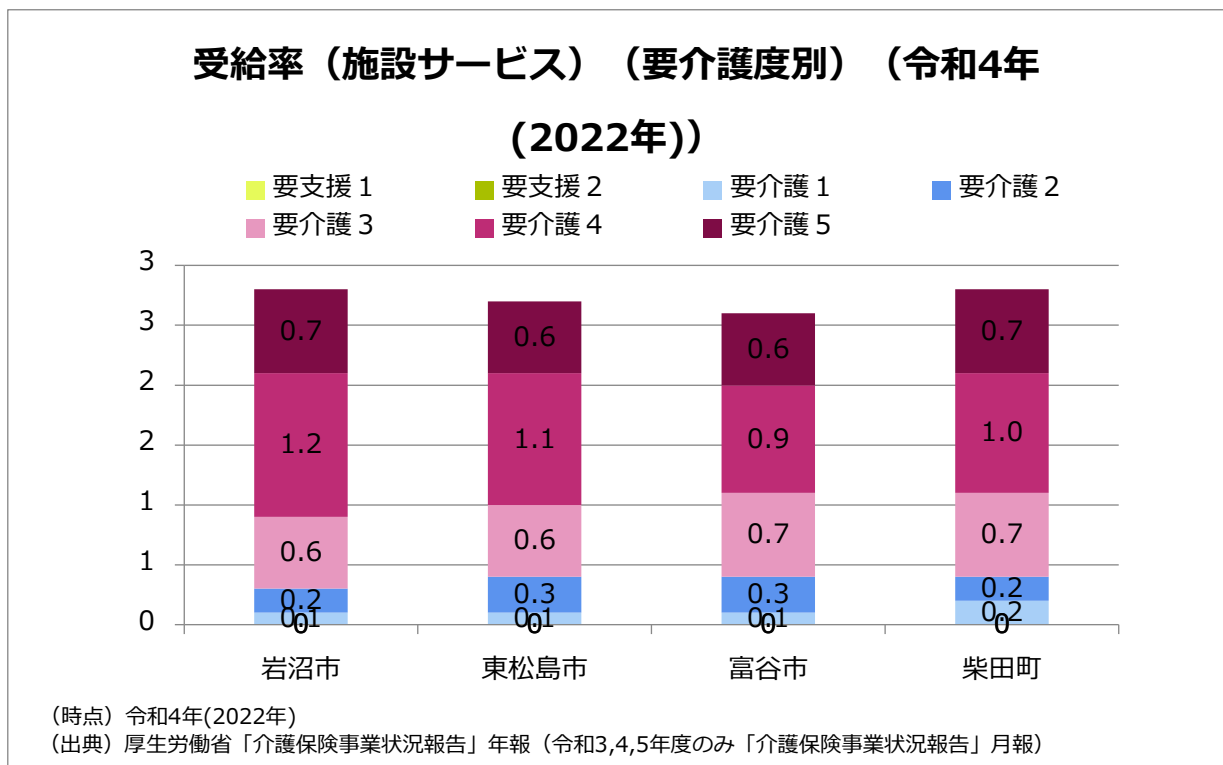
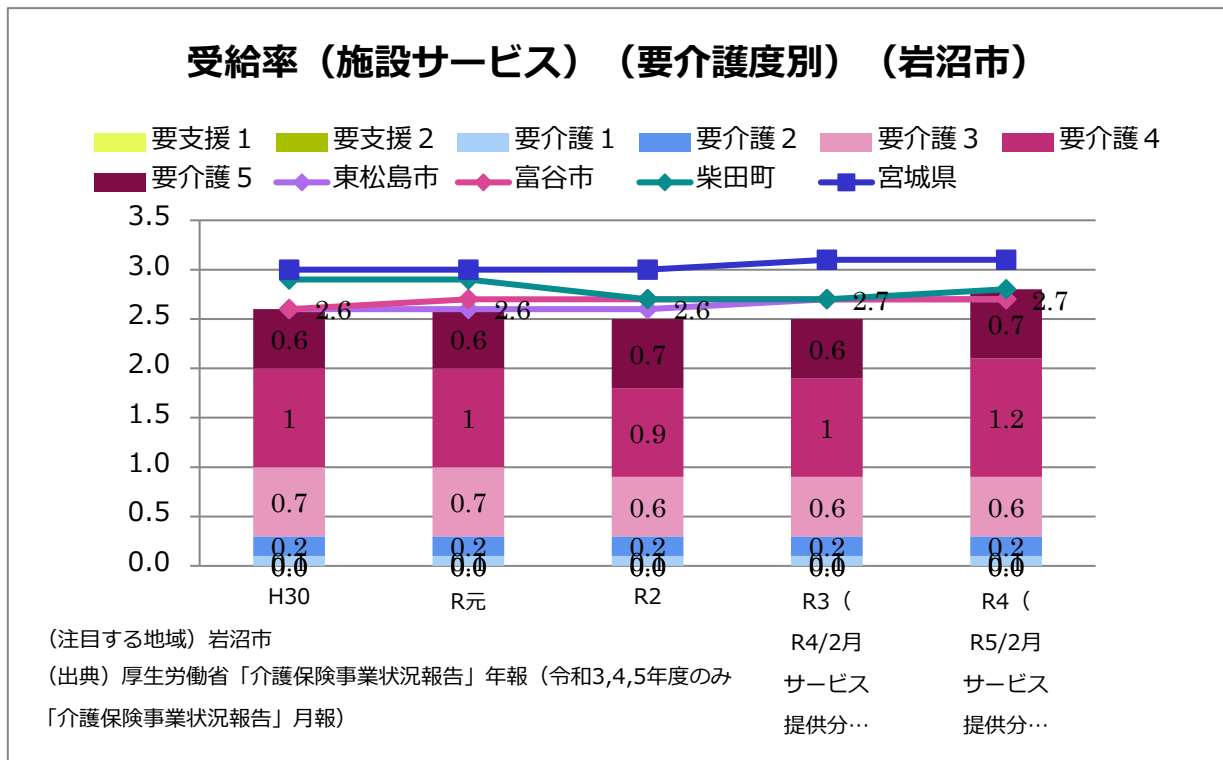
また、咀嚼機能リスクの高齢者の割合は、全国平均や宮城県平均を上回っており、75歳未満までの割合が特に多くなっている。

小括

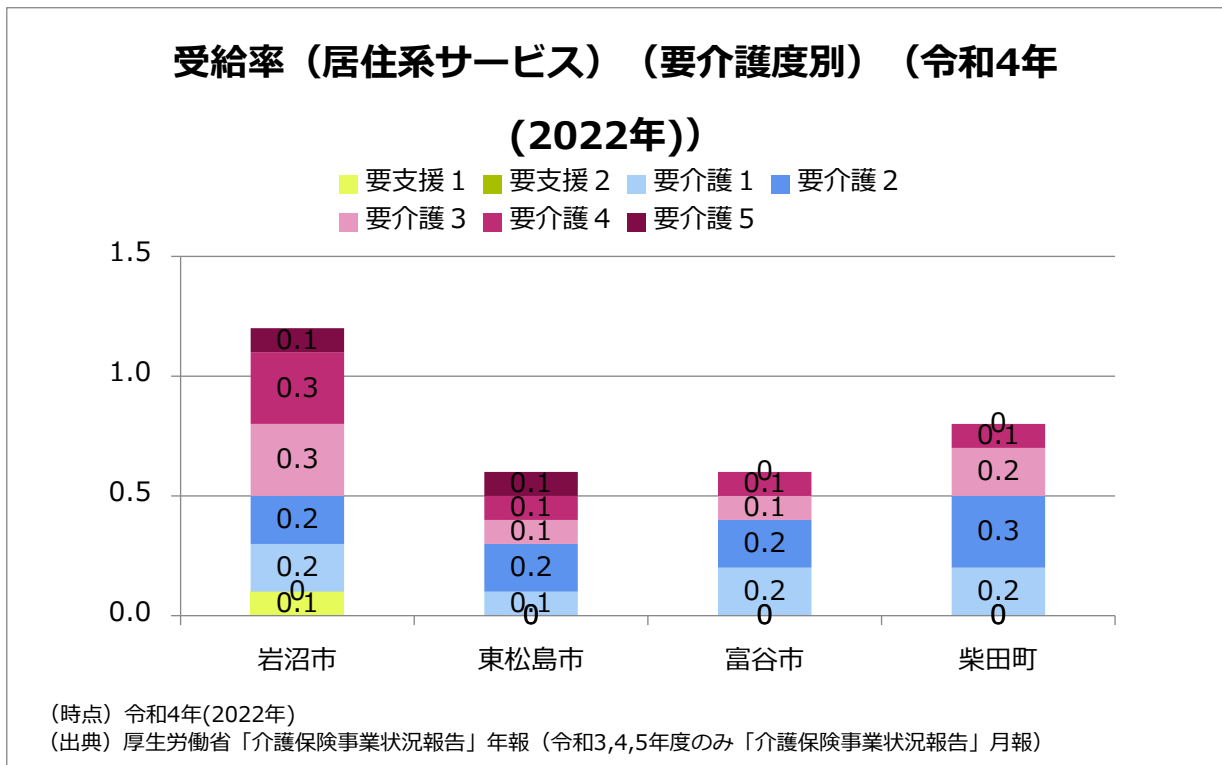
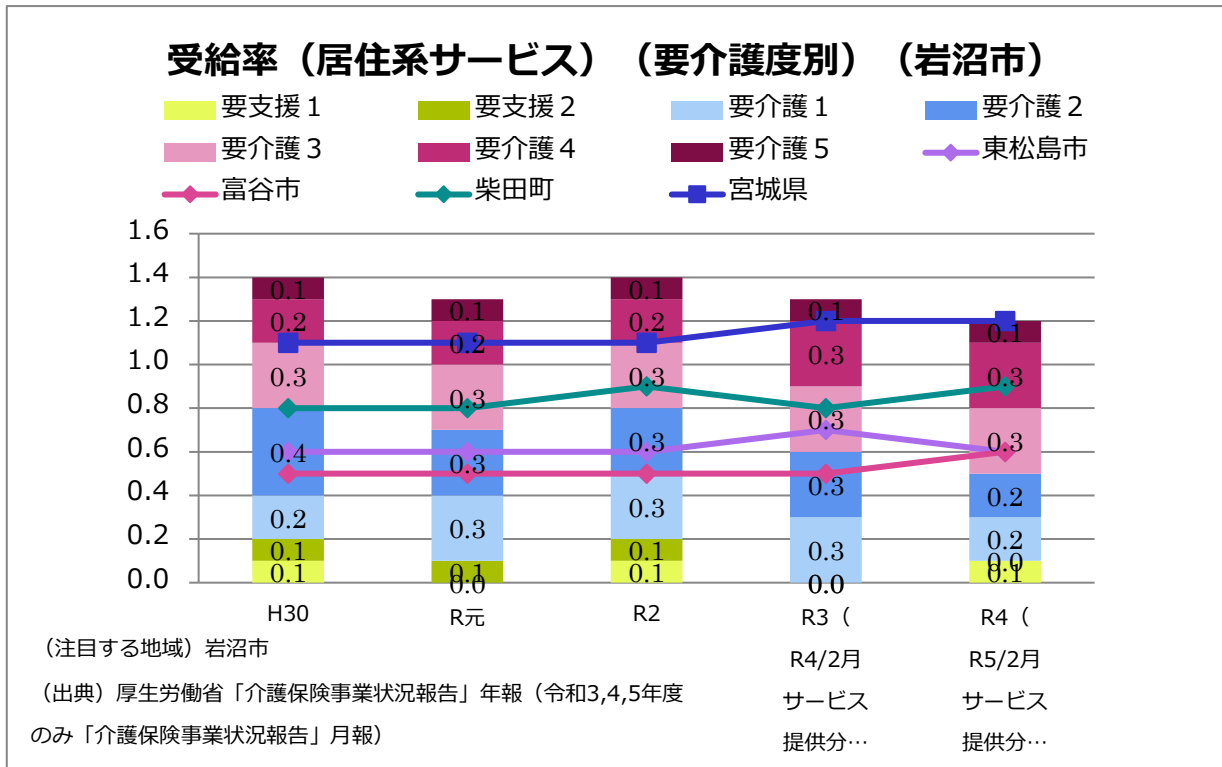
本市は、他の地域と比べて、IADLが低い高齢者の割合が高く、咀嚼機能リスクの高齢者の割合が高いことがわかった。身体機能が低下している高齢者に対し、住民主体の通いの場の創設等の介護予防に関する取組の推進、特定健康診査・後期高齢者健康診査、特定保健指導の推進、社会参加の場の整備等の取組みを進めていく必要がある。また、咀嚼機能リスクの高い高齢者には、低栄養や脱水が進行すると、栄養状態や体調の悪化からフレイルになることも予想される。引き続き、オーラルフレイル予防の推進を継続していき、適宜歯科医院等との連携を図っていく必要がある。

また、高齢者が重症化する前に介護予防の効果的な実施ができるよう継続して検討していく必要がある。

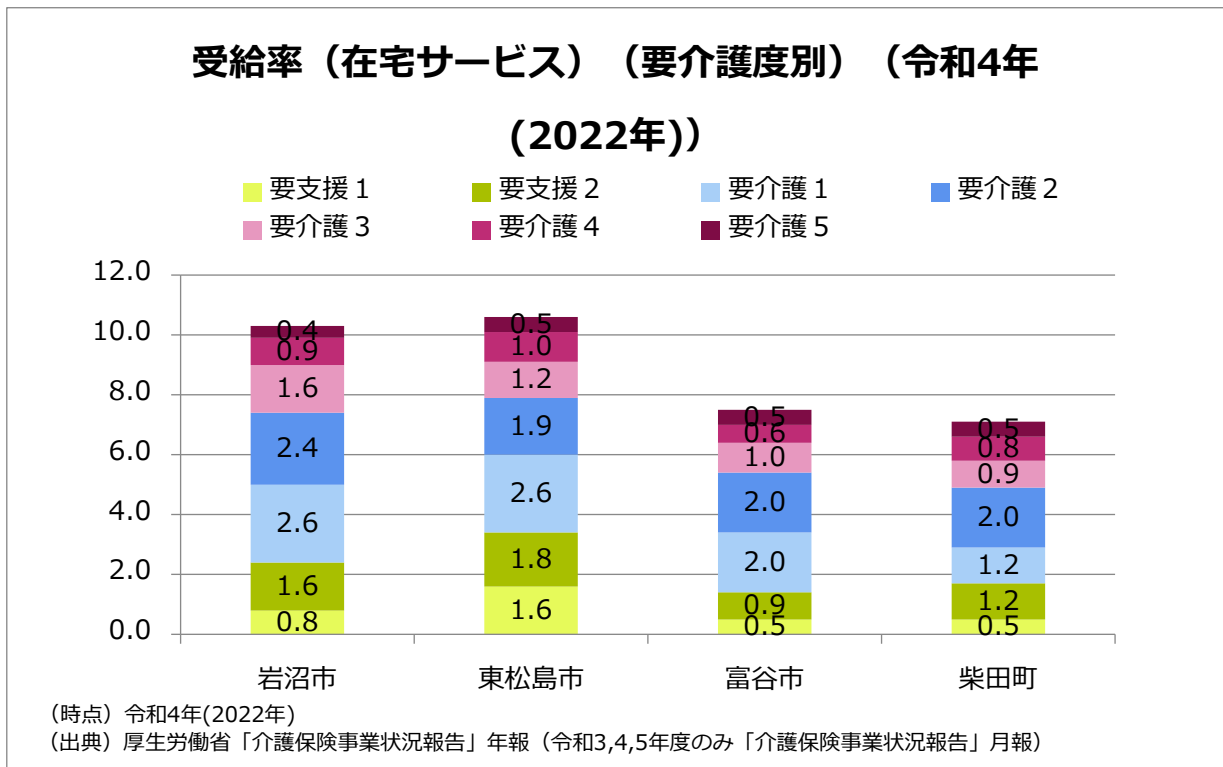
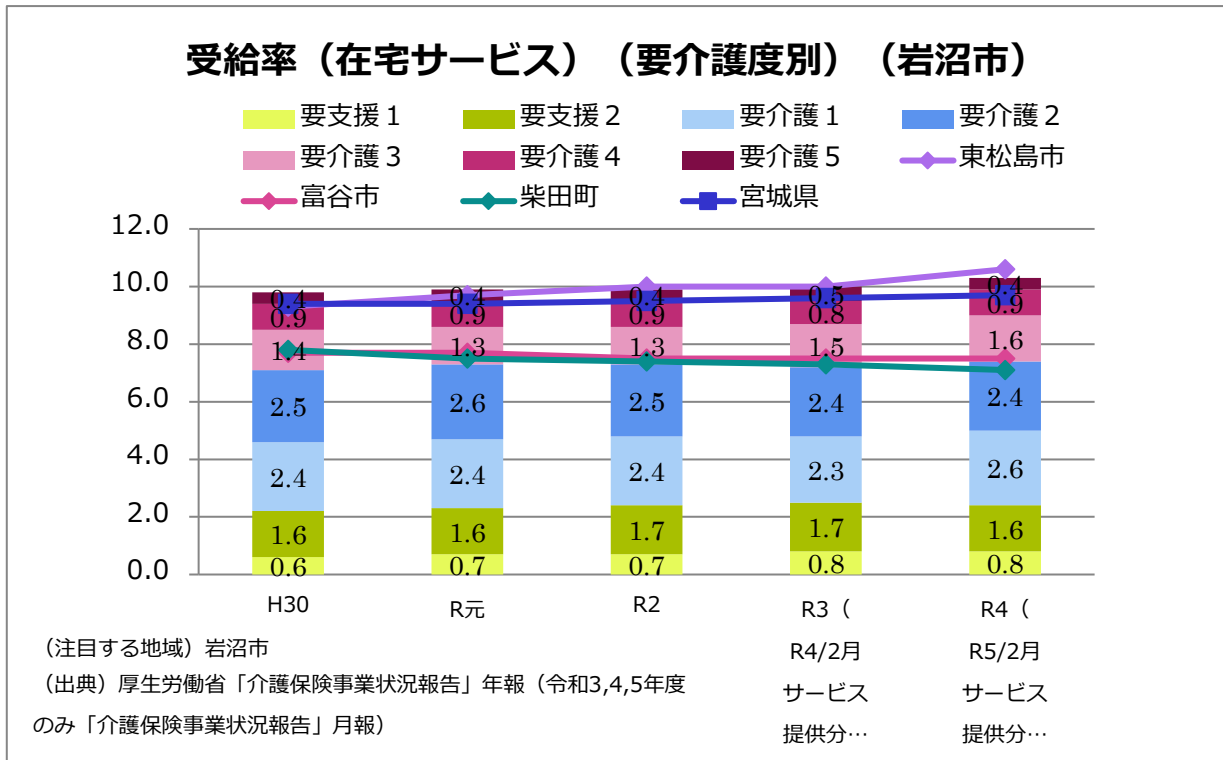
サービス受給率



施設サービス受給率は、宮城県の平均を例年下回っている。R2年(2020年)まで2.6%と推移していたが、R3年から2.7%に微増している。他の自治体と比較すると、受給率のうち要介護4以上の割合が最も高い。

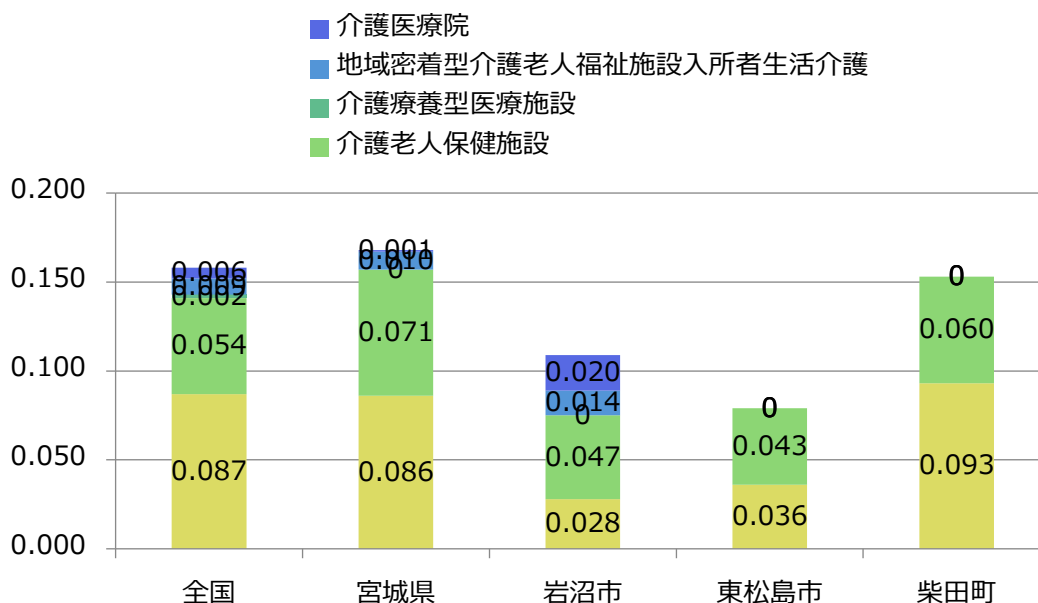


居住系サービス受給率は、宮城県の平均とほぼ同値であり、他の自治体を上回っている。特に他の自治体と比較すると、要介護3・要介護4の割合が高いことがわかる。



在宅サービスの受給率は、宮城県の平均を上回っている。また、他の地域と比較すると、本市の受給率は高い傾向にある。

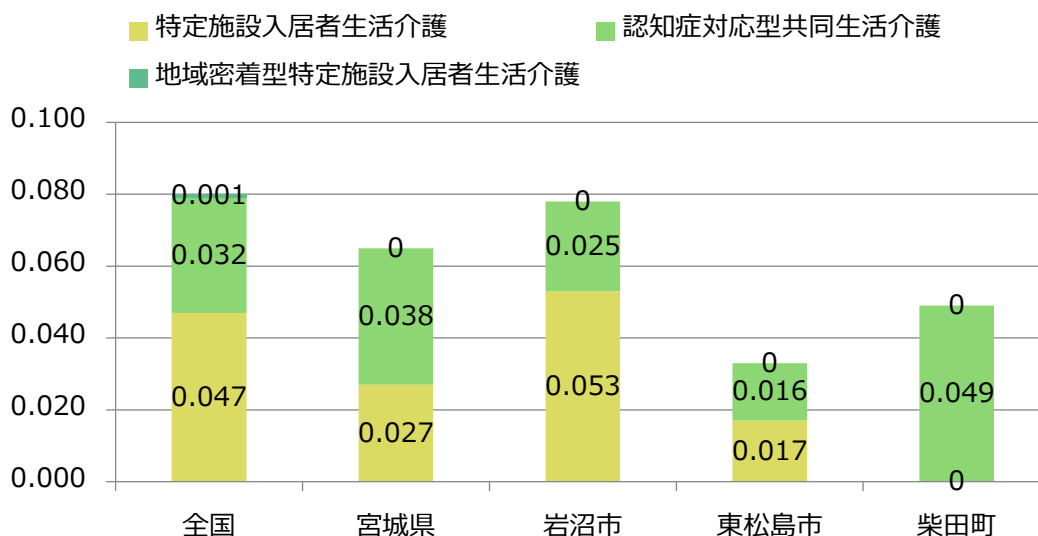
要支援・要介護者1人あたり定員（施設サービス別）（令和4年(2022年)）



(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（年報未公表時のみ月報）

要支援・要介護者1人あたり定員（居住系サービス別）（令和4年(2022年)）



(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（年報未公表時のみ月報）

小括

本市の施設・居住系サービスの受給率と在宅系サービスの受給率を比較すると、在宅サービスの受給率の方が高くなっている。地域内の中・重度者(要介護3以上)のニーズに対応したサービスが提供されているのかという視点から、それらのサービスの充足状況確認する必要があると考えられます。

中・重度の高齢者は、一般的に軽度の高齢者に比べ、施設・居住系サービスのニーズが高いことが想定されます。要支援要介護者1人あたり定員の指標によると、本市の施設サービス別の要支援・要介護者1人あたり定員は全国平均、宮城県平均及び他の自治体より下回っていることがわかる。施設サービスの基盤整備について、今後、他自治体の整備状況を踏まえながら検討していく必要があると考えられます。

また、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や「看護小規模多機能型居宅介護」等、中・重度者の在宅生活を支えるサービスの充実も考えられます。

2. 日常生活圏域別の特徴について

(ア)日常生活圏域の高齢者について

日常生活圏域はおおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定され、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、地理的条件・人口・交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況などを総合的に勘案し、地域の特性に応じて市町村内に設定しております。

地域包括ケアシステムは、それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制を目指しています。介護保険制度の枠内でだけ完結するものではなく、介護保険制度と医療保険制度の両分野から、高齢者を地域で支えていくものとなります。本市は、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて構築していくため、小学校学区を基本として、市内に4つの圏域を設定しております。

【 日常生活圏域の概要 】

岩沼西小学校学区		岩沼小学校学区	
人口	15,934人	人口	10,659人
高齢者数	4,178人	高齢者数	3,133人
高齢化率	26.2%	高齢化率	29.4%
世帯数	6,584世帯	世帯数	4,921世帯
高齢単身世帯数	741世帯	高齢単身世帯数	793世帯
認定者数(65歳以上)	588人	認定者数(65歳以上)	613人
認定率(65歳以上)	14.1%	認定率(65歳以上)	19.6%

岩沼南小学校学区		玉浦小学校学区	
人口	10,508人	人口	6,388人
高齢者数	2,844人	高齢者数	1,841人
高齢化率	27.1%	高齢化率	28.8%
世帯数	4,608世帯	世帯数	2,634世帯
高齢単身世帯数	585世帯	高齢単身世帯数	402世帯
認定者数(65歳以上)	474人	認定者数(65歳以上)	356人
認定率(65歳以上)	16.7%	認定率(65歳以上)	19.3%

資料：介護福祉課(令和5年3月末日現在)

① 岩沼小学校学区

地域のデータ

<地域の活動拠点>

○通いの場

- ・住民団体 11か所
- ・行政(介護予防担当)(健幸いきいき広場、常設型通いの場)

<医療機関>

○一般診療所

- ・内科系 6か所
- ・外科系 1か所
- ・小児科系 1か所
- ・産婦人科系 2か所
- ・皮膚科系 2か所
- ・眼科系 2か所
- ・耳鼻咽喉科系 0か所
- ・精神科系 1か所

○病院 1か所

○歯科 10か所

○薬局 10か所

○在宅療養診療所 1か所

○訪問歯科 2か所

○訪問薬局 3か所

<介護サービス事業所>

○訪問型介護施設

- ・訪問介護 4か所
- ・夜間対応型訪問介護 0か所
- ・訪問入浴介護 1か所
- ・訪問リハビリテーション 0か所
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0か所
- ・訪問看護 2か所

○通所型介護施設

- ・通所介護 1か所
- ・認知症対応型通所介護 0か所
- ・通所リハビリテーション 0か所
- ・地域密着型通所介護 3か所

○入所型介護施設

- ・小規模多機能型居宅介護 0か所
- ・認知症対応型共同生活介護 0か所
- ・介護老人福祉施設 0か所
- ・介護老人福祉施設(地域密着型) 0か所
- ・介護老人保健施設 0か所
- ・介護療養型医療施設 0か所
- ・介護医療院 0か所
- ・看護小規模多機能型居宅介護 0か所

○特定施設

- ・有料老人ホーム 1か所
- ・有料老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所
- ・有料老人ホーム(地域密着型) 0か所
- ・経費老人ホーム 0か所
- ・経費老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所
- ・経費老人ホーム(地域密着型) 0か所
- ・サ高住 0か所
- ・サ高住(外部サービス利用型) 0か所
- ・サ高住(地域密着型) 0か所

○居宅介護支援事業所 5か所

○福祉用具事業所

- ・福祉用具貸与 2か所
- ・特定福祉用具販売 2か所

○ショートステイ

- ・短期入所生活介護 0か所
- ・短期入所療養介護 0か所

※令和4年度中の任意の1ヶ月について、月1回以上の活動実績がある通いの場(新型コロナウイルス感染症に伴う休止を除く)

地域の状況(要介護リスク)

	プレイ ルあり	運動 機能 低下	1年間 の転 倒あ り	物忘 れが 多い 者	閉じ こも り者	うつ 割合	口腔 機能 低下 者	低栄 養の 傾向	認知 機能 低下	IADL (自立 度)低 下者
市全体 (n=6,827)	23.5	14.3	28.2	39.7	6.5	32.0	23.0	5.9	40.2	16.1
岩小 (n=1,787)	24.6	16.2	28.5	38.3	7.6	32.3	22.2	5.7	39.1	17.4

社会参加等の状況

【全年齢】	ボランティ ア参加者	スポーツ会 参加者	趣味の会参 加者	学習・教養 サークル参 加者	通いの場参 加者	趣味や経験 を他者に伝 える活動参 加者
市全体 (n=6,827)	11.0	22.4	23.1	6.7	12.2	4.4
岩小 (n=1,787)	10.7	20.9	23.9	7.4	12.3	5.2

地域ケア会議から見た課題(主なもの)

サービス拒否、多問題家族への支援者間の連携、セニアカーへの理解があまりない
集合住宅の見守り支援について

第2層生活支援コーディネーターが捉えている地域の課題

独居、老老世帯が多い。

町内会や老人クラブ等の活動が減少傾向。

※緑字は市平均よりも高い値。赤字は市平均よりも低い値。

出典：令和5年3月発行 岩沼市医療機関・介護サービスマップ保存版、健康とくらしの調査

② 岩沼南小学校学区

地域のデータ

<p><地域の活動拠点></p> <p>○通いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民団体 11 か所 ・地域包括支援センター(認知症ふれあい café) ・行政(介護予防担当)(健幸いきいき広場) <p><医療機関></p> <p>○一般診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科系 1か所 ・外科系 2か所 ・小児科系 0か所 ・産婦人科系 0か所 ・皮膚科系 0か所 ・眼科系 1か所 ・耳鼻咽喉科系 0か所 ・精神科系 0か所 <p>○病院 2か所</p> <p>○歯科 2か所</p> <p>○薬局 3か所</p> <p>○在宅療養診療所 0か所</p> <p>○訪問歯科 1か所</p> <p>○訪問薬局 1か所</p> <p><介護サービス事業所></p> <p>○訪問型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護 1か所 ・夜間対応型訪問介護 0か所 ・訪問入浴介護 0か所 ・訪問リハビリテーション 0か所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0か所 ・訪問看護 2か所 	<p>○通所型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 4か所 ・認知症対応型通所介護 1か所 ・通所リハビリテーション 1か所 ・地域密着型通所介護 2か所 <p>○入所型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護 1か所 ・認知症対応型共同生活介護 1か所 ・介護老人福祉施設 0か所 ・介護老人福祉施設(地域密着型) 0か所 ・介護老人保健施設 1か所 ・介護療養型医療施設 0か所 ・介護医療院 0か所 ・看護小規模多機能型居宅介護 0か所 <p>○特定施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホーム 0か所 ・有料老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所 ・有料老人ホーム(地域密着型) 0か所 ・経費老人ホーム 0か所 ・経費老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所 ・経費老人ホーム(地域密着型) 0か所 ・サ高住 0か所 ・サ高住(外部サービス利用型) 0か所 ・サ高住(地域密着型) 0か所 <p>○居宅介護支援事業所 5か所</p> <p>○福祉用具事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具貸与 0か所 ・特定福祉用具販売 0か所 <p>○ショートステイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所生活介護 0か所 ・短期入所療養介護 1か所
---	--

※令和4年度中の任意の1ヶ月について、月1回以上の活動実績がある通いの場(新型コロナウイルス感染症に伴う休止を除く)

地域の状況(要介護リスク)

	フレイルあり	運動機能低下	1年間の転倒あり	物忘れが多い者	閉じこもり者	うつ割合	口腔機能低下者	低栄養傾向	認知機能低下	IADL(自立度)低下者
市全体 (n=6,827)	23.5	14.3	28.2	39.7	6.5	32.0	23.0	5.9	40.2	16.1
南小 (n=1,632)	25.6	15.2	28.4	41.4	6.3	32.0	22.5	6.9	41.9	17.8

社会参加等の状況

【全年齢】	ボランティア参加者	スポーツ会参加者	趣味の会参加者	学習・教養サークル参加者	通いの場参加者	趣味や経験を他者に伝える活動参加者
市全体 (n=6,827)	11.0	22.4	23.1	6.7	12.2	4.4
岩小 (n=1,632)	10.2	23.7	22.1	6.4	12.4	4.5

地域ケア会議から見た課題(主なもの)

家の中は自立しているが、外出できない高齢者が多い、本人の家族と近所とのつながり緊急時連絡可能な親族等がない

第2層生活支援コーディネーターが捉えている地域の課題

通いの場が減少し、住民の交流機会が減少している地域がある。

※緑字は市平均よりも高い値。赤字は市平均よりも低い値。

出典：令和5年3月発行 岩沼市医療機関・介護サービスマップ保存版、健康とくらしの調査

③ 岩沼西小学校学区

地域のデータ

<p><地域の活動拠点></p> <p>○通いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民団体 24か所 ・地域包括支援センター(みんなのカフェ(認知症カフェ)、西ラジオ体操) ・行政(介護予防担当)(健幸いきいき広場) <p><医療機関></p> <p>○一般診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科系 6か所 ・外科系 4か所 ・小児科系 3か所 ・産婦人科系 0か所 ・皮膚科系 0か所 ・眼科系 0か所 ・耳鼻咽喉科系 0か所 ・精神科系 0か所 <p>○病院 1か所</p> <p>○歯科 3か所</p> <p>○薬局 5か所</p> <p>○在宅療養診療所 0か所</p> <p>○訪問歯科 0か所</p> <p>○訪問薬局 1か所</p> <p><介護サービス事業所></p> <p>○訪問型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護 0か所 ・夜間対応型訪問介護 0か所 ・訪問入浴介護 0か所 ・訪問リハビリテーション 0か所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0か所 ・訪問看護 0か所 	<p>○通所型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 2か所 ・認知症対応型通所介護 0か所 ・通所リハビリテーション 0か所 ・地域密着型通所介護 2か所 <p>○入所型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護 1か所 ・認知症対応型共同生活介護 2か所 ・介護老人福祉施設 1か所 ・介護老人福祉施設(地域密着型) 1か所 ・介護老人保健施設 0か所 ・介護療養型医療施設 0か所 ・介護医療院 0か所 ・看護小規模多機能型居宅介護 0か所 <p>○特定施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホーム 1か所 ・有料老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所 ・有料老人ホーム(地域密着型) 0か所 ・経費老人ホーム 0か所 ・経費老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所 ・経費老人ホーム(地域密着型) 0か所 ・サ高住 0か所 ・サ高住(外部サービス利用型) 0か所 ・サ高住(地域密着型) 0か所 <p>○居宅介護支援事業所 1か所</p> <p>○福祉用具事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具貸与 0か所 ・特定福祉用具販売 0か所 <p>○ショートステイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所生活介護 2か所 ・短期入所療養介護 0か所
--	--

※令和4年度中の任意の1ヶ月について、月1回以上の活動実績がある通いの場(新型コロナウイルス感染症に伴う休止を除く)

地域の状況(要介護リスク)

	フレイルあり	運動機能低下	1年間の転倒あり	物忘れが多い者	閉じこもり者	うつ割合	口腔機能低下者	低栄養傾向	認知機能低下	IADL(自立度)低下者
市全体 (n=6,827)	23.5	14.3	28.2	39.7	6.5	32.0	23.0	5.9	40.2	16.1
西小 (n=2,395)	20.3	11.3	26.8	39.2	5.3	29.4	23.1	6.0	38.7	12.9

社会参加等の状況

【全年齢】	ボランティア参加者	スポーツ会参加者	趣味の会参加者	学習・教養サークル参加者	通いの場参加者	趣味や経験を他者に伝える活動参加者
市全体 (n=6,827)	11.0	22.4	23.1	6.7	12.2	4.4
西小 (n=2,395)	11.0	24.1	25.2	6.7	10.3	4.4

地域ケア会議から見た課題(主なもの)

家族の支援が得られない、成年後見制度の利用と後見人との調整、医療・介護・障害の連携

第2層生活支援コーディネーターが捉えている地域の課題

気軽に集える場が少ない。

住民同士のつながりが希薄になってきている。

※緑字は市平均よりも高い値。赤字は市平均よりも低い値。

出典：令和5年3月発行 岩沼市医療機関・介護サービスマップ保存版、健康とくらしの調査

④ 玉浦小学校学区

地域のデータ

<p><地域の活動拠点></p> <p>○通いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民団体 3か所 ・地域包括支援センター(玉浦カフェ) ・行政(介護予防担当)(健幸いきいき広場) 	<p>○通所型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 2か所 ・認知症対応型通所介護 0か所 ・通所リハビリテーション 0か所 ・地域密着型通所介護 0か所
<p><医療機関></p> <p>○一般診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科系 1か所 ・外科系 0か所 ・小児科系 1か所 ・産婦人科系 0か所 ・皮膚科系 0か所 ・眼科系 0か所 ・耳鼻咽喉科系 0か所 ・精神科系 0か所 <p>○病院 1か所</p> <p>○歯科 2か所</p> <p>○薬局 2か所</p> <p>○在宅療養診療所 0か所</p> <p>○訪問歯科 0か所</p> <p>○訪問薬局 1か所</p>	<p>○入所型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護 0か所 ・認知症対応型共同生活介護 0か所 ・介護老人福祉施設 1か所 ・介護老人福祉施設(地域密着型) 1か所 ・介護老人保健施設 0か所 ・介護療養型医療施設 0か所 ・介護医療院 1か所 ・看護小規模多機能型居宅介護 0か所 <p>○特定施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホーム 0か所 ・有料老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所 ・有料老人ホーム(地域密着型) 0か所 ・経費老人ホーム 0か所 ・経費老人ホーム(外部サービス利用型) 0か所 ・経費老人ホーム(地域密着型) 0か所 ・サ高住 0か所 ・サ高住(外部サービス利用型) 0か所 ・サ高住(地域密着型) 0か所
<p><介護サービス事業所></p> <p>○訪問型介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護 2か所 ・夜間対応型訪問介護 0か所 ・訪問入浴介護 0か所 ・訪問リハビリテーション 0か所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0か所 ・訪問看護 0か所 	<p>○居宅介護支援事業所 1か所</p> <p>○福祉用具事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具貸与 0か所 ・特定福祉用具販売 0か所 <p>○ショートステイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所生活介護 2か所 ・短期入所療養介護 0か所

※令和4年度中の任意の1ヶ月について、月1回以上の活動実績がある通いの場(新型コロナウイルス感染症に伴う休止を除く)

地域の状況(要介護リスク)

	フレイルあり	運動機能低下	1年間の転倒あり	物忘れが多い者	閉じこもり者	うつ割合	口腔機能低下者	低栄養傾向	認知機能低下	IADL(自立度)低下者
市全体 (n=6,827)	23.5	14.3	28.2	39.7	6.5	32.0	23.0	5.9	40.2	16.1
玉小 (n=1,013)	26.0	16.8	30.8	40.5	8.0	37.8	24.8	4.6	42.8	18.6

社会参加等の状況

【全年齢】	ボランティア参加者	スポーツ会参加者	趣味の会参加者	学習・教養サークル参加者	通いの場参加者	趣味や経験を他者に伝える活動参加者
市全体 (n=6,827)	11.0	22.4	23.1	6.7	12.2	4.4
玉小 (n=1,013)	12.6	18.5	18.2	6.0	16.0	2.9

地域ケア会議から見た課題(主なもの)

身元引受人、家族がいない、制度やサービスにつながるまでの身元引受人はどうするか
食についての支援がない

第2層生活支援コーディネーターが捉えている地域の課題

移動や買い物への不安が大きい高齢者が多い。

地域活動での後継者不足から、社会参加への機会が減少していくことが懸念される。

※緑字は市平均よりも高い値。赤字は市平均よりも低い値。

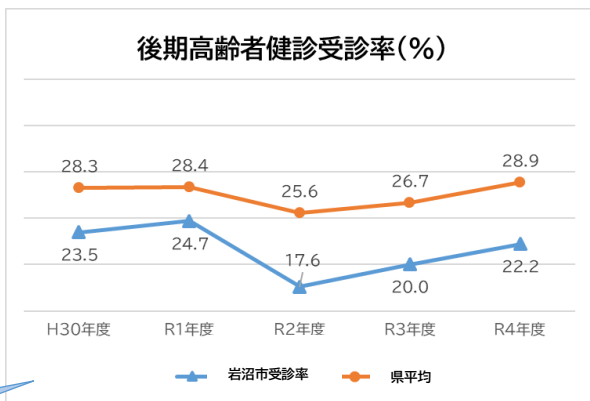
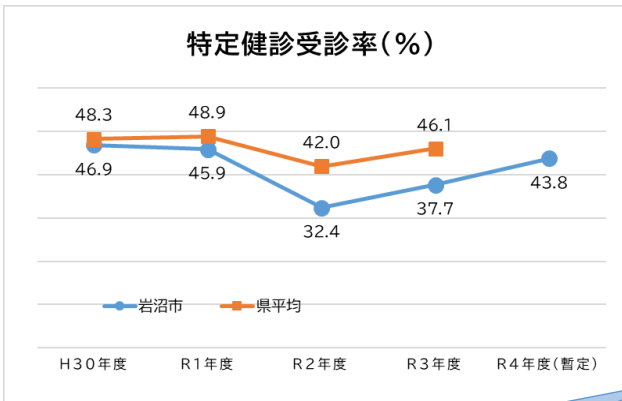
出典：令和5年3月発行 岩沼市医療機関・介護サービスマップ保存版、健康とくらしの調査

(イ)日常生活圏域の高齢者について

岩沼市生活圏域毎の健康データ(健康増進課)

【平均寿命】	【健康寿命】	【不健康な期間】
男性:岩沼市81.63年(県81.42)	岩沼市 80.18 年(県 80.05)	岩沼市 1.45 年(県 1.37)
女性:岩沼市86.91年(県87.24)	岩沼市83.57 年(県 84.17)	岩沼市 3.34 年(県 3.07)

(データからみたまやぎの健康・令和4年度版より)



【健康課題】
自分の体の状態を知る機会である特定健診、後期高齢者健診の受診率は共に県平均より低い。

【健康課題】
どの地区も HbA1c の有所見率が高い

- 健康づくりに関わる団体**
- 令和5年9月現在
- 食生活改善推進員:67名
 - 健康づくり市民計画推進委員「いわぬま健幸づくり隊」14名
 - 運動普及リーダー「スマイルサポーター」:10名
 - 健康づくり運動サポーター「元気サポーター」(西部地区を中心に活動):4名

